

# What's New From ASCIKU

関西大学科学技術振興会 No.42 May 2014

平成 26 年度総会・表彰式並びに第 1 回研究会を開催 5 月 17 日（土）

## 総会・表彰式

**総会** 14 時から、校友・父母会館 2 階会議室で開催し、当会会員、機構研究員、学生、合わせて 81 名が出席しました。紀和会長並びに石川機構長から挨拶の後、議事に移り、平成 25 年度事業報告・決算、平成 26 年度事業計画・予算、役員各議事について、審議の結果、異議なく承認されました。詳細内容は、冊子版の総会資料をご覧ください。

また、寺内名誉会長から、“シリコロイ”を関大発の合金として世に発信し、この材料の持つ特性を多くの産業界に利用してもらうことにより、関西大学の実力を世に啓蒙する活動計画を、科学技術振興会創立 50 周年記念事業の一つとしたいとのご提案がありました。

**表彰** 総会終了後、表彰式に移り、当会表彰規程により、平成 25 年度各賞受賞者に対して、紀和会長から表彰状及び副賞が授与されました（所属・資格は平成 25 年度の表記）。

受賞者におかれましては、今後ますますのご活躍とご発展をお祈りいたします。

学の実化賞	課題：メラニン産生促進フラボノイドの同定と活性発現メカニズムの解明 化学生命工学部 教授 長岡 康夫
産学連携賞	課題：チタン多孔体への骨伝導能と初期強度の付与 化学生命工学部 准教授 大阪冶金興業株式会社 土井 研児 花見 和樹 上田 正人 森 重雄
	課題：ステンレス鋼の高機能化表面処理技術の開発 化学生命工学部 教授 大阪冶金興業株式会社 岩佐 康弘 松田 茂敬 春名 匠 土井 研児
研究奨励賞	課題：細胞表層機能を有する糖タンパク質含有ソフトマテリアルの創製 生体材料学研究室 藤井 秀悦
	課題：FDTD 法によるインピーダンス境界について 建築環境工学第 I 研究室 石川翔一郎
	課題：多数の動く教師が存在するオンライン学習に関する統計力学的解析 情報統計力学研究室 鍋谷 崇裕



<学の実化賞 受賞>



<産学連携賞 受賞>



また、本会の活動に対し、学校法人関西大学を通じてご寄付を頂戴いたしました大阪冶金興業株式会社（寺内代表取締役）様には、紀和会長から感謝状が贈られました。



## 第1回研究会

平成26年度総会・表彰式の終了後、78名の出席者を迎え、第1回研究会を開催しました。

### 平成25年度「学の実化賞」受賞記念講演

**演題：「メラニン産生促進フラボノイドの同定と活性発現メカニズムの解明」**

**講師：化学生命工学部 教授 長岡 康夫 氏**

ご講演の冒頭で、長岡康夫教授は1965年4月のお生まれで、1965年5月に生まれた関西大学科学技術振興会とはとても親近感があること、ご自身も振興会同様に来年には50周年をお迎えになることをユーモラスにご紹介され、そのおかげで緊張気味であったご講演の場は随分と和んだようでした。

現在、先生は有用生理活性化合物の探索、医薬品候補化合物の創生、生体機能性分子の構築をテーマにご研究をされていますが、このようなテーマを追求されるきっかけとして、恩師である京都大学の藤多哲朗名誉教授の業績に関してのご紹介がありました。藤多先生は、冬虫夏草由来の免疫抑制物質から、多発性硬化症に対する新薬の基礎となる化合物を探り当てられ、これが米国などで初の経口薬として認可されるに至り、今日では全世界で年間1500億円もの売上を生みだしているのだそうです。このように、天然物から有効な成分を探索する仕事は、非常に困難ではあるものの、大きな夢、可能性を秘めており、だからこそ研究への大きなモチベーションにもなるとお話されました。長岡先生も、今回まさに、そういった業績が評価されて「学の実化賞」を受賞された訳です。

先生は、メラニン色素の生合成制御機構を研究する中で、特定の天然フラボノイドが色素細胞のメラニン産生を促進する効果を発見され、その構造と作用機構に関しては日本生薬学会の学術雑誌「Journal of Natural Medicines」や「PLoS ONE」に掲載されました。また、この研究の一部は中野製薬株式会社と共同で実施し、国内特許を出願されています。毛髪の色はメラニン色素によるものであるため、この発見はこれまで課題とされていた白髪の予防・改善につながるものと大きな期待を集めています。

このメラニン産生促進作用を有するフラボノイド含有エキスを配合した毛髪化粧品（医薬部外品）は中野製薬から2013年4月から発売され、すでにヒット商品となっています。

ご講演の中では、ご研究内容以外にも、普段あまり聞くことのできない薬事法や現在規制改革の中で進められている食品の機能性表示に関するご紹介がありました。食品、化粧品といった身近な製品と、それにまつわる法規制や、それに秘められたサイエンスの話題であったため、聴衆の関心は非常に高く、1時間のご講演時間がとても短く感じられました。

### アンケート集計結果

今年度も当会研究会について、会員の要望を把握し今後の研究会運営に反映するため、アンケートを実施いたします。

今回は35件の回答を得ました。その中で、研究会の内容については、半数以上の方々から「参考になった」「理解しやすかった」「長さも適当」との回答をいただきました。

「技術分野」については、「機械・メカトロニクス」「ものづくり・加工」に関心があること、さらに「知りたい情報」については、「実用化が期待される研究成果」「研究者の研究内容・専門分野」との回答を多くいただきました。

これらの結果を、今後の研究会活動に反映するよう努めてまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

[振興会のホームページ](http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/sinkokai/index.html) <http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/sinkokai/index.html>  
関西大学 HP からサイト内検索で「振興会」を入力してください

ASCIKU 関西大学科学技術振興会

Associative Society for the Collaboration between Industries and Kansai University

関西大学科学技術振興会は平成27年に50周年を迎えます

